

施工上の要点、注意事項

【施工前下地調整】

下地調整が不十分だと塗膜の剥がれの原因や仕上の不良原因となります。
塗り替え時は、高圧洗浄及びデッキブラシ等によって、塗装面の汚れ・ほこり・コケ・劣化塗膜(死に膜)・油分など付着物を除去し凹凸の補修(水が溜まったり、ほこりが残ることが無いよう)を実施して下さい。
折板など金属下地で錆の発錆が見られる場合には、電動工具等を用いて入念なケレンを行って下さい。その後、下地に適した錆止め塗装を行って下さい。

【施工時の注意事項】

霜・雪・露・雨の予想される場合、気温5℃以下・湿度85%以上、結露の予想される場合は、塗装を避けて下さい。(低温時・高温時は、乾燥が遅れます)昼夜の温度差が大きい時期は、結露によるツヤ引けなど塗膜異常が発生しますので、塗装時間中に注意して下さい。
塗装後に降雨を受けたり、結露の生じる場所では塗膜が白化する場合があります。この場合は、全面目荒らしを行って再塗装して下さい。

塗装後、未乾燥状態で凍結致しますと塗膜・塗着不良を起します。

※気温・湿度・塗装間隔などの施工管理を充分に行ってください。

【ダンネストシーラー】(スレート・ALC・カラーベスト・コンクリート下地)

ダンネスト主材塗装前の下処理として、ダンネストシーラーを塗装して下さい。

無希釈使用。希釈は不可です。

被塗物の種類(素材)によって塗布量が変わります。

吸い込みの著しい素材は、塗装面が濡れ色になるまで塗り込んで下さい。

ダンネストシーラーは、塗装前にシーラーが均一になるように充分に攪拌して下さい。

ダンネストシーラー開封後は、一度にご使用ください。(使い切ってください)

シーリング材の上への施工は、専用プライマー施工の上、ダンネストシーラーを施工して下さい。

※

※刷毛・ローラー・エアレスガンでの施工が出来ます。

【ダンネストプライマー】(シート防水・ウレタン防水・塩化ビニルクロス面)

可塑剤によるフリード抑止用プライマー

ダンネストプライマーは、充分に攪拌を行って下さい。攪拌時に泡を巻き込まないように注意して下さい。

※刷毛・ローラー・スプレーでの施工が出来ます。

【ダンネスト主材】

遮熱性能は、塗色によって異なります。

断熱性能は、塗色によって変化ありません。

塗装後、スケや塗り残しがある場合の補修は、塗装ムラが出やすいので注意して補修して下さい。

ダンネスト主材は、比重の軽い中空ビーズを配合した一液性塗料です。

開封時には、塗料上層に中空ビーズが浮いた状態になっている場合があります。攪拌機によって中空ビーズが塗料に混ざり込むように充分に攪拌して下さい。

ダンネスト主材は、高粘度の塗料なので攪拌時塗料に泡が混ざらないように注意して下さい。

特に濃彩色は、着色顔料が塗料上層に浮き出していますので、色が均一になるよう充分に攪拌して下さい。

シーリング材の上への施工は、専用プライマー施工の上、ダンネスト主材を施工して下さい。

※攪拌作業によって中空ビーズをバランスよく混ぜることは、断熱効果を均一にし、接着力・弾力性・耐久性のある塗膜にする重要な作業です。

ダンネスト主材は高粘度の塗料ですので、被塗物の表面温度及び気温、天候によって、希釈量を調整してご使用下さい。

※表面温度計で、塗装面の温度を確認して下さい。

(1)ローラー・刷毛・刷毛

希釈の目安

塗装面温度40℃以下・・・無希釈

50℃・・・清水300cc～400cc/缶

60℃・・・清水500cc～600cc/缶

70℃・・・清水600cc～800cc/缶

80℃以上の場合は、メーカー担当者までお問合せ下さい。

塗装面の温度が高温の場合、塗料の水分の蒸発が早く、塗料がベタ付き平滑な塗膜表面を得られない場合があります。希釈水を塗料容器に入れ充分に攪拌してから塗装して下さい。

過度の希釈は、塗膜不良・接着不良を起します。

安全衛生上の注意

予防：取扱時には、保護メガネ・マスク・手袋等の保護具を使用して下さい。

使用後は、手洗いうがい洗顔を行って下さい。

目に入った場合や飲み込んでしまった場合は、塗料の製品説明書(SDS)を持って、急ぎ医療機関に相談して下さい。

塗料缶を積み重ねる場合は、荷崩れに注意して下さい。

容器は、容器取手で吊り上げないで下さい。吊り上げる場合には、吊り上げネットなどで垂直に吊り上げて下さい。

取り扱い上の注意

保管：冬期には、水性塗料ですので、凍結に注意して下さい。

現場保管時の注意：地面に直接置くことは避けて下さい。

直射日光・雨ざらしの保管はやめて下さい。製品にとって適切な保管をして下さい。

廃棄：使用済み容器の廃棄は、関連法規に基づき産業廃棄物として処理して下さい。

残塗料は、産業廃棄物として処理して下さい。

SG化学株式会社

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町7-15ハニ一堀留第2ビル5階

TEL: 03-3527-3111 FAX: 03-3527-3112



カタログ制作日 04.2022

(2)エアレスガン
希釈量：塗装表面温度に関係なく600cc/缶の清水で希釈し攪拌して下さい。
※壁面及び斜面に塗布する場合は、希釈率を調整しダレの防止を行って下さい。

ポンプの仕様・目安
高粘度塗料対応型
出力：8L/min, 150kgf/cm, 900w程度
チップ径：0.6mm程度

(ガバナニウム鋼板屋根への塗装)

(1)旧塗膜がある場合

旧塗膜が活膜で付着が健全であれば、洗浄の後ダンネスト主材を塗装して下さい。

(2)旧塗膜が無い場合

ガバナニウム鋼板表面を化学処理等が施されている場合があります。ダンネスト主材を30cm四方程度のテスト塗りを数ヶ所行い、養生の後基目試験等により付着性を確認して下さい。

付着力が充分の場合、ダンネスト主材にて塗装仕上げを行って下さい。

付着力が不足の場合は、目荒らしの後非鉄用プライマー(防錆力を持つ)を下塗の上ダンネスト主材を塗装して下さい。

特に新設時には塗料の付着性が劣ることがありますので注意して下さい。

【ダンネストカラートップ】(遮熱機能カラートップ)

ダンネスト主材の標準色より濃い色を要望の場合に仕上げ用として塗装して下さい。

色合いにより遮熱性能が異なります。缶を開けると、色が分離したり、沈降している場合があります。十分攪拌して下さい。

遮熱性能を発揮するためには所定の数量と塗り回数(施工)を行って下さい。1回塗りの場合は十分に離れない場合があります。

過度の希釈は剥離、仕上がりが不良、色分かれの原因となります。希釈率を守って下さい。

塗装後スケや塗り残しがある場合は、補修塗りを再度全面塗装を行って下さい。

※刷毛・ローラー・エアレスガンでの施工が出来ます。

【ダンネストクリーン】

ダンネストクリーンは、塗装済み面と未塗装面の区別が付きにくいことがあります。

塗磨きが予想される場合は、塗装最後の確認が出来るように注意して下さい。

※濃彩色に塗装をしますとツヤムラが発生する場合がありますので、濃彩色には塗装しないようして下さい。

※ダンネスト主材に上塗り塗装する場合は、塗装間隔を24時間以上開けて塗装して下さい。

※ダンネストクリーンは親水性塗料で、水の力で汚れを洗い流します。したがって雨水のかわらない箇所は、低汚染機能を発揮しません。

※ダンネストクリーンは水性のコーティング剤ですが、若干のアルコールを含んでおりますのでアルコール臭がします。

液だれしやすいため養生をしっかり行い、ローラー・刷毛塗装する場合、よくしごきながら塗装して下さい。塗装すると、塗装前と比較して僅かに光沢が低下します。特に平面では短毛ローラーを使用して、均一に塗装して下さい。(エアースプレー・低圧スプレーが推奨です)

ダンネストクリーン塗装面に高圧洗浄やブラシなど物理的に負担をかけた場合は、性能を発揮出来なくなる場合があります。

今、世界が必要とする塗料です

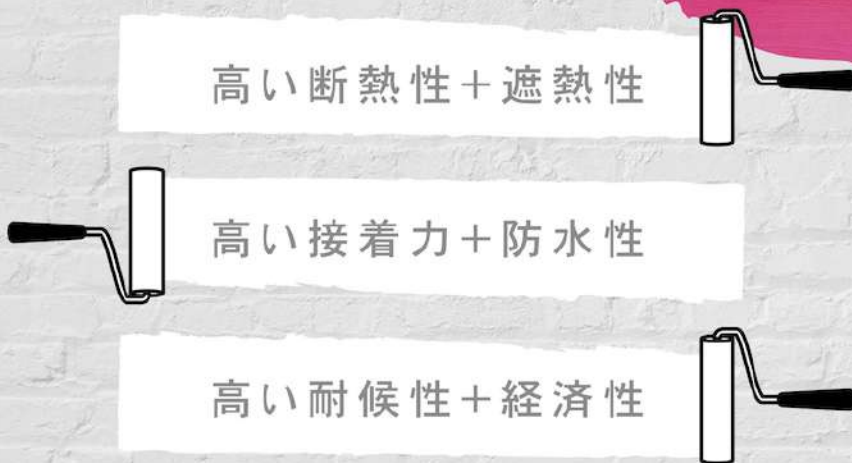
DANEST

ダンネスト

高い断熱性+遮熱性

高い接着力+防水性

高い耐候性+経済性



CO2削減は遮熱機能に断熱機能を
プラスした「ダンネスト」をお勧めします。